

東京工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語特講
科目基礎情報					
科目番号	0039		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	物質工学専攻		対象学年	専2	
開設期	前期		週時間数	前期:2	
教科書/教材	『使える理系英語の教科書』（東京大学出版会）、『英文校正会社が教える 英語論文のミス100』（ジャパンタイムズ）				
担当教員	小林 礼実				
到達目標					
【目的】 この科目を受講することにより、英語で専門知識を発信する際の基礎を学ぶ（プレゼンテーションとアブストラクト） 【到達目標】 1. 自分が昨年行った研究について、英語で適切にアブストラクトを書くことができる。 2. 英語で自分の研究や専門について分かりやすくプレゼンテーションができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安	
評価項目1	教科書や講義で学んだことを取り入れて、効果的なテクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションを行うことができる。	教科書や講義で学んだことを取り入れて、テクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションを行うことができる。	テクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションを行うことができる。	テクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションで、意味ある内容を伝えることができない。	
評価項目2	教科書や講義で学んだことを取り入れて、クラスメイトの成果物に効果的なフィードバックを行える。	教科書や講義で学んだことを取り入れて、クラスメイトの成果物にフィードバックを行える。	クラスメイトの成果物に興味あるフィードバックを行える。	クラスメイトの成果物に興味あるフィードバックを行えない。	
評価項目3	専門的な語彙を多岐に渡って、効果的に収集できる。	専門的な語彙を効果的に収集できる。	専門的な語彙を収集できる。	専門的な語彙を収集できない。	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 A4 学習・教育目標 B2 学習・教育目標 B3 学習・教育目標 D3					
教育方法等					
概要	本授業では、プレゼンテーションやテクニカルライティングの基礎について学ぶと同時に、学生本人の実践を通して、専門分野・知識のプレゼンテーション、アブストラクトの書き方を身に着ける。実践なくしては身につかないので、学生本人の授業外での準備が必須となる。				
授業の進め方・方法	学生が準備してきた発表・成果物に関して、教科書や講義の内容を基に、良い点・改善点をクラスメイトと話し合い、適切なアブストラクトやアカデミックプレゼンテーションを用意できるようになることを目指す。学生による発表と演習が本授業の主軸となる。学習単位科目であり、授業外での課題や発表準備が必須である。				
注意点	・課題や発表内容は、必ず締め切りまでに提出すること。 ・辞書を所持していない物は必ず事前に購入すること。また、毎回授業に持参すること。 ・実践を伴う授業である。受け身ではなく、前向きに取り組むこと。				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
				☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション シラバス配布、授業で使用する教材の確認。発表の順番決め、日本語で自己紹介、など。	授業の進め方、宿題などの課題、授業の目標、について理解する。	
		2週	プレゼンテーション：英語で自己紹介 伝えるということ、プレゼンテーションとは	一般的に良しとされるプレゼンテーションについて理解を深める。英語で自分を表現できる。	
		3週	テクニカルライティング：英語で去年の自分の研究について短く説明した文章（事前準備）をクラス内で共有、テクニカルライティングとは	テクニカルライティングの概要について理解する。英語で自分の研究について伝える。	
		4週	語彙収集の発表、論文執筆について、アブストラクトのサンプルを吟味する	自分の専門分野で使われる典型的な表現などを、自分で収集できる。アブストラクトの性質について理解する。	
		5週	アブストラクト・ファーストドラフト、クラス内全員で英文校正(1)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。	
		6週	アブストラクト・ファーストドラフト、クラス内全員で英文校正(2)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。	
		7週	アブストラクト・ファーストドラフト、クラス内全員で英文校正(3)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。	
		8週	アブストラクト・セカンドドラフト、クラス内全員で英文校正(1)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。	
	2ndQ	9週	アブストラクト・セカンドドラフト、クラス内全員で英文校正(2)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。	
		10週	語彙収集の発表、アカデミックプレゼンテーションとは	専門分野で必要とされる語彙の蓄積がある。アカデミックプレゼンテーションの性質について理解する。	
		11週	アカデミックプレゼンテーション実践(1)	英語で自分の研究分野について発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。	

		12週	アカデミックプレゼンテーション実践(2)	英語で自分の研究分野について発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		13週	アカデミックプレゼンテーション実践(3)	英語で自分の研究分野について発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		14週	アカデミックプレゼンテーション・ディスカッション実践(1)、意見の述べ方	英語で自分の研究分野について分かりやすく発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		15週	アカデミックプレゼンテーション・ディスカッション実践(2)	英語で自分の研究分野について分かりやすく発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		16週	進度調節とまとめ	これまで学んだことの要点を自分の言葉でまとめることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	課題	ライティング	プレゼン	相互評価		合計
総合評価割合	26	25	25	24	0	100
基礎的能力	10	0	0	0	0	10
専門的能力	16	25	25	24	0	90
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0